国立大学法人富山大学　第４期中期目標・中期計画

中期目標	中期計画
（前文）法人の基本的な目標 富山大学は、雄大な立山連峰と深淵な富山湾を望む地にあり、その大自然の循環を享受しながら歴史を紡ぎ、教育研究を通じて地域と世界の発展に寄与してきた。しかし、現在、世界は人類と自然との共生において多くの困難な問題に直面している。人類の持続的発展に貢献し、平和で協同する社会を形成するために、富山大学は、ここに理念と目標を定める。 **理念** 富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、人文社会科学、自然科学、生命科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与する。 **目標** **Ⅰ 教育 －高い使命感と創造力のある人材の育成－** 富山大学は、学生の個性を尊重しつつ人格を陶冶するとともに、倫理観を育み、広い知識と深い専門的学識を教授することにより、「使命感と創造力に富む人材を育成する総合大学」を目指す。 １．学生の主体的な学びを促し、多様な学修ニーズに応え、教育の質を保証するために、教育環境の充実と教育システムの改善を図り、教員の教授能力の不断の向上に努める。 ２．学士課程では、教養教育と専門教育を充実し、グローバルな知識基盤社会に貢献できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材を育成する。 ３．大学院課程では、体系的で高度な専門教育を充実し、現代の多様な課題に果敢に挑戦し解決できる人材を育成する。 **Ⅱ 研究 －地域と世界に向けて先端的研究情報の発信－** 富山大学は、学問の継承・発展と基礎的な研究を重視するとともに、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、融合領域の研究を推進する。また、基礎研究を充実するとともに、「地域と世界に向けて先端的研究情報を発信する総合大学」を目指す。	

1．真理を追究する基礎研究を尊び、学問の継承・発展に努めるとともに、地域や地球規模の課題解決、社会変革につながるイノベーションの創出を推進する。 2．先端的な研究環境を整備し、世界的な研究拠点を構築する。 3．世界水準のプロジェクト研究を推進するとともに、研究成果を社会に還元し、世界の持続的な発展に貢献する。また、基礎的・萌芽的な研究を積極的に発掘し、その展開を支援する。 **Ⅲ 社会貢献 －地域と国際社会への貢献－** 富山大学は、多様な分野からなる総合大学のスケールメリットを活かして、地域社会が抱える多様な問題及び地域を越えたグローバルな課題に取り組み、「地域と国際社会に貢献する総合大学」を目指す。 1．地域社会の教育と文化・芸術の発展に寄与するとともに、地域再興への先導的役割を果たす。 2．地域の特性を活かし、産学官連携を通じて地域産業の活性化を促進する。 3．地域の中核的医療機関としての大学附属病院は、専門性と総合性を併せ持つ質の高い医療を提供するとともに、地域の包括的な医療を牽引する。 4．大学間交流や国際貢献を推進するとともに、環境問題等の現代社会の重要課題に取り組む。 **Ⅳ 運営 －透明性の高い大学運営－** 富山大学は、教育、研究、社会貢献を積極的に推進するため、「大学運営において高い透明性を持ち、社会に開かれた総合大学」を目指す。 1．国民から負託された国立大学法人であるとの明確な認識のもとに、透明性の高い効率的な大学運営を行い、社会に対する説明責任を果たす。 2．学内外の意見と評価を大学運営に反映し、大学の人材、資金、施設・設備等の資源を最も有効に活用する。 3．組織と構成員は自己点検と自己評価に努め、時代や社会の要請に対応して、改革と改善を果敢に推進する。 4．個人情報の保護に努めつつ、情報公開を積極的に行い、構成員全てが持てる力を充分に発揮できる職場環境を構築する。	
◆ 中期目標の期間 中期目標の期間は、令和４年４月１日～令和10年３月31日までの６年間とする。	

<table>
<tr><th>中期目標</th><th>中期計画</th></tr>
<tr><td>Ⅰ　教育研究の質の向上に関する事項</td><td>Ⅰ　教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</td></tr>
<tr><td>１　社会との共創
（１）人材養成機能や研究成果を活用して、地域の産業（農林水産業、製造業、サービス産業等）の生産性向上や雇用の創出、文化の発展を牽引し、地域の課題解決のために、地方自治体や地域の産業界をリードする。①</td><td>１　社会との共創に関する目標を達成するための措置
【1-1 地域の産業・文化の発展への貢献】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　本学の研究の強み・特色であり地域の中核的産業分野でもある薬・ヘルスケア、軽金属及びカーボンニュートラルの領域を中心に、地方自治体及び地域の産業界の政策等決定及び課題解決に積極的に関与し、協働することにより、地域振興に貢献する。
②　国立大学において数少ない芸術系学部を有し、人文科学・社会科学系学部と連携している特色を生かし、文化財の保護・活用拠点として文化の発展に貢献する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　教育・研究活動等の成果や本学が果たしている機能・役割についての情報発信により増加が期待される地域からの政策等決定・課題解決への関与依頼に対し、積極的に応えるよう教員に要請することで、教員の地域の自治体・経済団体等の会議・審議会等への参画を推進する。
②ア　地域の文化資源を調査、研究資料の公開・発表や、文化資源の魅力を発信するプロジェクトを実施、伝統的な技術と現代のデジタル技術を融合した手法による文化財の修復・保存を行い、成果を公開する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番1）①アＡ…地域の自治体・経済団体等の会議・審議会等への参画件数（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間平均件数から10％増を達成）
（指標通番2）②アA…地域の文化資源の調査・研究、保護・活用に係る取組成果を公開する発表会、展覧会、報告書等の件数（第４期中期目標期間中の平均件数を、第３期中期目標期間平均件数より増加）</td></tr></table></td></tr>
</table>

（2）我が国の持続的な発展を志向し、目指すべき社会を見据えつつ、創出される膨大な知的資産が有する潜在的可能性を見極め、その価値を社会に対して積極的に発信することで社会からの人的・財政的投資を呼び込み、教育研究を高度化する好循環システムを構築する。③

【2-1 知的財産の発掘】

（1）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 総合大学ならではの多様な研究成果の中から、本学の研究の強み・特色であり地域の中核的産業分野でもある薬・ヘルスケア、軽金属及びカーボンニュートラルの領域を中心に、独創的な知的財産を発掘し、権利化や社会実装を推進する。

（2）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 対外発表前の研究成果から特許化できるシーズを発掘することにより、研究成果の特許化を進める。

①イ 保有する知的財産の評価を適切に行うなど、知的財産戦略を再整備する。

（3）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番3）①アA…単独及び共同の特許出願件数（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間平均件数から７％増を達成） （指標通番4）①イA…特許実施許諾収入金額（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間平均金額から10%増を達成）

【2-2 産学官連携活動の推進】

（1）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 本学の研究の強み・特色であり地域の中核的産業分野でもある薬・ヘルスケア、軽金属及びカーボンニュートラルの領域を中心に、自治体・企業・高等教育機関との組織対組織の連携を推進し、研究成果を社会に還元・発信・実装する。

（2）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 組織的連携協定の締結件数を増加させるため、複数の共同研究実績がある企業・自治体に協定締結を提案する。

①イ 共同研究・受託研究の受入額を増加させるため、共同研究契約締結時の積算・提案方式による交渉、公募型受託研究の研究IRを活用したURAによる積極的な関与などにより、採択支援を強化する。

	①ウ　教職員・学生による本学発起業件数を増加させるため、学内の啓発活動の推進、起業希望者支援を充実させる。 （３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標 評価指標：（指標通番5）①アA…組織的連携協定の締結件数（第４期中期目標期間中に新規の協定を６件締結） （指標通番6）①イA…共同研究・受託研究の受入額（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間平均の10.4億円（令和２年度末時点）から10%増） （指標通番7）①ウA…教職員・学生による本学発ベンチャー認定件数（第４期中期目標期間中に３件認定）
２　教育 （**3**）国や社会、それを取り巻く国際社会の変化に応じて、求められる人材を育成するため、柔軟かつ機動的に教育プログラムや教育研究組織の改編・整備を推進することにより、需要と供給のマッチングを図る。④	**２　教育に関する目標を達成するための措置** **【3-1 社会ニーズに対応した教育研究組織の改編・整備】** （１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準 ①　国や社会、それを取り巻く国際社会の変化に応じて、必要な教育プログラム・教育研究組織の改編・整備を実施し、人間と自然に対する理解を持ち、社会から求められる能力を身に付けた人材を育成する。 学部においては、普遍的スキル・リテラシー、専門性及び主体的学修態度を身に付け、地域等の課題を解決できる人材の育成体制の構築を目指す。 大学院においては、地域に留まらず我が国全体又は世界での活躍を視野に、高度な専門性と高い基盤的能力を生かして、アカデミアだけでなく産業界、官公庁等においても活躍できる人材の育成体制の構築を目指す。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　学部においては、地域の産業構造や社会ニーズを意識した検証を行った上で、Society 5.0に対応する数理・データサイエンス・AI教育や現代的な課題解決能力を身に付けさせる教育プログラムの改編や教育研究組織の改組を計画し、実施する。 ①イ　大学院においては、修了後の多様なフィールドでの活躍を想定した検証を行った上で、異分野の人材との協働や企業等での専門性を生かした就業体験等に対応する教育プログラムの改編や教育研究組織の改組を計画し、実施する。

<table>
<tr><td></td><td>（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番8）①アA…全学部組織の検証及び対応の状況（地域の産業構造や社会ニーズを意識した学部組織・カリキュラムとなっているかの検証レポートの作成及び対応計画の策定・実施（第４期中期目標期間中に１回））
（指標通番9）①イA…全大学院組織の検証及び対応の状況（多様なフィールドで活躍できる人材の育成を想定した大学院組織・カリキュラムとなっているかの検証レポートの作成及び対応計画の策定・実施（第４期中期目標期間中に１回））</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>（４）特定の専攻分野を通じて課題を設定して探究するという基本的な思考の枠組みを身に付けさせるとともに、視野を広げるために他分野の知見にも触れることで、幅広い教養も身に付けた人材を養成する。（学士課程）⑥</td><td>【4-1 課題設定・解決力を身に付けさせる枠組みの整備】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　社会変容に伴う多様なニーズに対応するため、柔軟で複眼的思考力を備え、自ら問題を発見し、解決に導く人材を育成する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　学生に、自発的に問題発見から複眼的・理論的な分析、問題解決までを導く力を身に付けさせるため、アクティブ・ラーニング型授業の実施割合を充実させる。
①イ　学生が能力の修得状況を自身で把握できる仕組みづくりのため、学生が各科目の修得状況に応じて身に付けることができた能力を可視化するシステム「積算能力評価（レーダーチャート）」を導入し、学修の振り返りを促し、学生の意識的学修につなげる。
①ウ　教育の質を向上させるため、学生へのアンケート調査等を実施し、改善する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番10）①アA…アクティブ・ラーニング型授業の実施割合（全授業のうち、６割以上でアクティブ・ラーニング型授業を実施することを、毎年度継続）
（指標通番11）①イA…本学のDP（ディプロマ・ポリシー）における５つの評価項目の達成度を可視化したレーダーチャートの全学的導入と学生の個別面談におけるレーダーチャートの活</td></tr></table></td></tr>
</table>

	用状況（レーダーチャートは令和４年度中に試行し、令和６年度に本格的に導入する。合わせて、個別面談において、レーダーチャートを全学的に活用することを令和６年度に制度化する。） （指標通番 12）①ウ A…DP（ディプロマ・ポリシー）達成度調査に基づく、検証・改善状況（毎年度、次年度以降に向けた授業内容等の改善計画を策定し、その計画を着実に実施する。）

【4-2 教養教育の推進】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

①　Society5.0で活躍できる、幅広い教養及び柔軟な思考力並びに国際的な視野を持つ人材を育成する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア　幅広い教養及び柔軟な思考力を養うため、細分化された既存の授業科目の教育内容を見直し、チームティーチングを推進することで、１つのテーマに対して多面的で幅広く俯瞰できる授業科目を構築する。

①イ　１年次学生を対象として短期海外派遣プログラムを実施する。

①ウ　英語の授業において、能力別、テーマ別のクラス分けを導入するとともに、定期的な英語外部試験を実施する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番13）①アA…多様な教員で一つの授業を担当する授業科目の数（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間末と比べて10%の増加を達成） （指標通番14）①イA…短期海外派遣プログラムの１年次学生の平均参加者数（第４期中期目標期間平均で40名、第３期の平均参加者数の２倍） （指標通番15）①ウA…１年次学生の英語外部試験の平均得点（４月と翌年１月の２回受験させ、２回目の平均得点を１回目より５%以上上昇させる(第４期中期目標期間を通しての平均)）

【4-3 社会のニーズを踏まえた教育プログラムの整備】

<table>
<tr><td></td><td>（1）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
① 多様化・複雑化している社会のニーズを踏まえたエキスパートの輩出に向け、幅広い知識や深い専門的学識、及び複合的な視野を備えた人材を育成する。

（2）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア 変化する社会的ニーズに対応するため、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」等の既存の学部横断型教育プログラムを整備、充実させるため、その評価方法（PDCAサイクル）を構築、制度化する。

（3）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番16）①ア A…教育プログラム評価方法の構築及び検証と改善状況（令和4年度末までに教育プログラム評価方法を構築し、令和5年度から制度化する。それに基づき毎年度検証を行い翌年度以降へ向けた改善計画を策定し、その計画を着実に実施する。）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>（5）研究者養成の第一段階として必要な研究能力を備えた人材を養成する。高度の専門的な職業を担う人材を育成する課程においては、産業界等の社会で必要とされる実践的な能力を備えた人材を養成する。（修士課程）⑦</td><td>【5-1 研究者/高度職業人の研究基盤力の育成】
（1）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
① 産業界等で必要とする異分野融合の視野を備えた人材を育成する。特に文理融合系の課程においては、文理複眼の視野及び多角的思考力を具有する人材を育成する。

（2）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア 令和4年度に設置する新大学院の全ての研究科及び学環（研究科等連係課程実施基本組織）において、従来の研究科や専攻の枠組みにとらわれない領域の異なる複数教員による研究指導を実施する。特に、学環に設置する「社会データサイエンスプログラム」及び「グローバルSDGsプログラム」において、従来の枠組みにとらわれない文理融合系の領域の異なる複数教員による研究指導を実施する。

（3）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番17）①ア A…研究科及び学環における文系内（人文社会芸術）又は理系内（医薬，理工及び医薬</td></tr></table></td></tr>
</table>

			理工）の異分野複数教員による研究指導を受けた学生の割合（第４期中期目標期間中の平均割合を、令和３年度比20%増） （指標通番18）①ア Ｂ…持続可能社会創成学環の２つのプログラムにおける文理融合系の異分野複数教員による研究指導を受けた学生の割合（第４期中期目標期間中の平均割合を、当該学環学生全体の50%以上とする）
（6）深い専門性の涵養や、異なる分野の研究者との協働等を通じて、研究者としての幅広い素養を身に付けさせるとともに、独立した研究者として自らの意思で研究を遂行できる能力を育成することで、アカデミアのみならず産業界等、社会の多様な方面で求められ、活躍できる人材を養成する。（博士課程）⑧	**【6-1 次世代を担う研究者の育成】** （１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準 ①　深い専門性のみならず次世代を担う研究者に必須である自由な発想と幅広い専門知識を身に付けさせ、アカデミアや産業界において領域横断的技術の開発及び新たな価値創造を担える人材を育成する。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　令和４年度から修士課程に設置予定の学環（研究科等連係課程実施基本組織）を中心に領域の異なる複数教員による研究指導を実施し、博士課程においてもその体制を生かした指導を実施する。 （３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標 評価指標：（指標通番19）①ア Ａ…異分野融合による共著論文数及びその共著論文数の全論文数（大学院博士課程）に占める割合（第４期中期目標期間中の平均割合を、令和３年度比20%増） **【6-2 社会の多様な分野で活躍できる博士課程学生の育成】** （１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準 ①　優秀な大学院博士課程学生を対象に、研究力向上、キャリアパス支援に向けた様々な取組を提供し、アカデミアや民間企業等で幅広く活躍できる人材を育成する。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　「科学技術イノベーション創出に向けたフェローシップ創出事業」及び「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採	

<table>
<tr><td></td><td>用学生の論文投稿及び国際学会発表の支援による研究力向上、インターンシップ参加などのキャリアパス支援に向けた様々な取組を提供する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番20）①アA…論文投稿数及び国際学会発表数（「科学技術イノベーション創出に向けたフェローシップ創出事業」及び「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採用学生が、いずれかを毎年度１回以上投稿又は発表）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>（7）医師や学校教員など、特定の職業に就く人材養成を目的とした課程において、当該職業分野で必要とされる資質･能力を意識し､教育課程を高度化することで、当該職業分野を先導し、中核となって活躍できる人材を養成する。⑩</td><td>【7-1 医師養成課程の高度化】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　高度医療や地域の医療に貢献するため不断の医学教育改革に努め、医師養成課程の高度化を図る。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　日本医学教育評価機構（JACME）が実施する「医学教育分野別評価」を受審し、評価結果を踏まえて改善に取り組む。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番21）①ア A…日本医学教育評価機構（JACME）が実施する国際基準に基づく医学教育分野別評価の適合率（令和９年度末までに自己評価で100%適合）</td></tr></table>
【7-2 先進的な教員養成体制の構築による、優れた教員人材の輩出】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　令和４年４月の金沢大学との共同教員養成課程の設置（予定）により、広く教育リソースを持ち寄り、効果的で先進的な教育体制を構築し、優れた教員人材を輩出する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>令和４年度から共同教員養成課程を設置し、以下の取組を実施する。
①ア　インクルーシブ教育、ICT教育、英語教育等、現代的課題に対応する先進的教育科目（必修）を開講する。
①イ　両大学教員の連携によるきめ細かな学生指導を実施する。
①ウ　教育委員会との連携による、地域の課題・特性に対応した新たな学修機会を提供する。
①エ　小学校一種免許状に加え、中学校（高等学校）・特別支援学校・幼稚園のいずれかの二種免許状の取得が卒業要件となっているが、いずれも一種の複数免許状の取得を推奨し、教職に就く意欲を高めるとともに、教職支援センターと連携し、教職特任教授による相談・指導等、教員採用試験の合格者増に向けた取組を実施する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番22）①ア Ａ…先進的教育科目の開講数（令和７年度までに146科目開講）
（指標通番23）①イ Ａ…両大学教員の連携による新たな学生指導体制整備状況（令和７年度までにユニットによる４年一貫の学生指導体制を確立し、「教師になるためのノート」の活用や両大学の合同指導を実施）
（指標通番24）①ウ Ａ…教育委員会との連携強化による新たな学修の履修者数（関連する学修（学校インターンシップ、子どもとのふれあい体験等）の第４期中期目標期間中の履修者合計を、第３期中期目標期間より増加）
（指標通番25）①エ Ａ…教員採用試験合格者数（第４期中期目標期間最終年度までに、年間50人以上を合格させる）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>（８）データ駆動型社会への移行など産業界や地域社会等の変化に応じて、社会人向けの新たな教育プログラムを機動的に構築し、数理・データサイエンス・AI</td><td>【8-1 リカレント教育の質向上】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　これからの社会人の基礎的能力となる数理・データサイエンス・AI教育を、地域に普及させる。
②　課題解決力（共創力）や高度な専門的能力を身に付けられる実践型リカレント教育を実施する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　県内の小・中・高・特支学校教員のICT、データサイエンスに対する指導力を向上させるためのセミナーを開催す</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>など新たなリテラシーを身に付けた人材や、既存知識をリバイズした付加価値のある人材を養成することで、社会人の職業人としてのスキル向上を支援する。⑪</td>
<td>る。
①イ　データサイエンスに関する講座の開設や、データ分析による課題解決力を向上させるセミナーを開催し、県内行政機関や企業等において、データサイエンスを活用できる人材を養成する。
②ア　本学の修士課程において、遠隔授業数を増やすなど、社会人が就学しやすい環境と制度を整える。
②イ　地域に根ざした小規模事業者等を対象に、時代に応じて変化する地域特有の課題やニーズに対応できるよう実践型リカレント教育を実施する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番26）①ア A、①イ A…データサイエンス講座及びセミナーの受講生に対するアンケート調査の結果（毎年度、満足度５段階中平均3.5以上の評価を得る）
（指標通番27）②ア A…本学修士課程の社会人入学者の人数（第４期中期目標期間中の平均入学者数を、第３期中期目標期間中の平均入学者数より増加）
（指標通番28）②イ A…実践型リカレント教育の改善状況（毎年度、アンケート等に基づき検証を行い、翌年度以降へ向けた改善計画を策定し、その計画を着実に実施する）</td></tr></table></td>
</tr>
<tr>
<td>３　研究
（9）真理の探究、基本原理の解明や新たな発見を目指した基礎研究と個々の研究者の内在的動機に基づいて行われる学術研究の卓越性と多様性を強化する。併せて、時代の変化に依らず、継承・発展すべき</td>
<td>３　研究に関する目標を達成するための措置
【9-1 研究IR機能の構築】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　本学が強みとする脳科学分野をはじめ、広く基礎研究・学術研究の継承・発展に必要な資源を確保するため、研究IR機能を有した戦略組織を構築し、学内の教育・研究・財務等の多様なデータを収集・分析することで、戦略的な研究支援活動を行う。
（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　研究IR機能を有する組織体を設置し、実施するための専門的な人材を育成・配置する。
①イ　収集・分析データの項目を抽出し、分析体制を整え、戦略的に支援する。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>学問分野に対して必要な資源を確保する。⑭</td>
<td>（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>（指標通番29）①アＡ…研究IR機能を有した戦略組織の整備状況（令和５年度までに整備する。規則を制定した上で、研究IR担当URA１名のほか、組織を運営する人員を配置し、執務室を整備する。）
（指標通番30）①イＡ…研究IR業務に従事するURAが戦略的に関与して申請する、JST、AMED、NEDOをはじめとした大型の競争的資金の申請数（第４期中期計画期間中に合計15件）</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>（10）地域から地球規模に至る社会課題を解決し、より良い社会の実現に寄与するため、研究により得られた科学的理論や基礎的知見の現実社会での実践に向けた研究開発を進め、社会変革につながるイノベーションの創出を目指す。⑮</td>
<td>【10-1 社会の課題解決・イノベーションに寄与する研究の推進】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　国内外との共同研究を推進し、本学が強みとして保有している重点研究分野（カーボンニュートラル・ヘルスケア・創薬・軽金属・データサイエンス等）の研究や技術（文化財保存等）を地球規模で問題となっている課題の解決や社会のイノベーションにつなげる。
②　熊本大学との連携により設置した先進軽金属材料国際研究機構において、それぞれが強みとして保有している分野を融合した共同研究を推進する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　産業界との共同研究や、各種競争的資金制度を積極的に獲得し活用するため、社会実装を伴うプロジェクトに対し、研究IRを活用した、URAによる積極的な関与などにより、戦略的に研究支援する。
①イ　重点領域研究分野・技術における研究活動を、研究IRを活用した、戦略的な論文投稿支援などにより、促進する。
②ア　先進軽金属材料国際研究機構に、学術研究用設備の共同利用環境を整備し、新たな共同研究実施に結び付ける。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table>
<tr><td>評価指標</td><td>（指標通番31）①アＡ…重点研究分野・技術が実施する共同研究・受託研究の件数（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期平均比10%増を達成）
（指標通番32）①アＢ…重点研究分野・技術における政策課題的な競争的資金の獲得を支援するため、研究IR業務に従事するURAが戦略的に関与して申請する、JST、AMED、NEDOをはじ</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

	めとした大型の競争的資金の申請数（第４期中期計画中に合計15件） （指標通番33）①イＡ…重点研究分野・技術の論文掲載数（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期平均比10%増を達成） （指標通番34）①イＢ…重点研究分野・技術の論文被引用件数（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間最終年度比７%増を達成） （指標通番35）②アＡ…先進軽金属材料国際研究機構における共同研究の件数（第４期中期目標期間中の平均件数を令和３年度比増） （指標通番36）②アＢ…先進軽金属材料国際研究機構における共同研究による論文掲載数（第４期中期目標期間中の平均数を令和３年度比５%増） （指標通番37）②アＣ…先進軽金属材料国際研究機構における特許の申請件数（第４期中期目標期間中の平均件数を令和３年度比増）

【10-2社会実装を目指した東西医薬学融合研究の推進】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 東西医薬学の融合による新たな疾病予防・治療戦略（次世代型医療科学）を創出し、創薬・育薬といった社会実装へとつなげる。さらに国内及び国際的な伝統医薬学研究（含和漢医薬学研究）の中核的拠点を担える体制を強化する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 東西医薬学の融合研究として４つの重点研究プロジェクト（１.高齢者疾患対策研究、２.代謝・免疫疾患対策研究、３.未病医療・創薬研究、４.資源開発研究）を重点支援し、当該プロジェクトの論文数や特許申請数を増加させる。

①イ 和漢医薬学総合研究所に学術研究用設備の共同利用環境を整備し、産官学連携共同研究を推進する。

①ウ 医学部・薬学部・附属病院と連携して創薬につながる臨床研究；トランスレーショナルリサーチ（基礎研究から臨床現場への橋渡し研究）を推進する。

①エ 異分野融合型共同研究や国際共同研究に取り組むことで、国内外研究機関との関係を強化し、国内研究機関との連携協定締結及び海外研究機関との国際協力拠点設置に結び付ける。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番38）①ア A…創薬シーズの数（年間４件以上、第４期中期目標期間中延べ24件以上） （指標通番39）①イ A…産官学連携による共同研究の件数（年間４件以上、第４期中期目標期間中延べ24件以上） （指標通番40）①ウ A…臨床研究（特定臨床研究、医師主導治験）の実施数（第４期中期目標期間中に３件以上） （指標通番41）①エ A…国内研究機関との連携協定締結数（第４期中期目標期間中新規１か所以上） （指標通番42）①エ B…海外研究機関との国際協力拠点の設置数（第４期中期目標期間中新規１か所以上） ※創薬シーズの数はシーズ関連論文発表及び特許申請数の総数とする。

（11）若手、女性、外国人など研究者の多様性を高めることで、知の集積拠点として、持続的に新たな価値を創出し、発展し続けるための基盤を構築する。⑰

【11-1 若手教員比率の向上】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

①　本学の研究力の向上及び学問分野の継承と新しい視点の確保のため、若手教員比率を確実に上昇させる。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア　教員組織である学術研究部の下に置かれた学系単位で、毎年度数値目標を設定し、達成するための支援策を講じる。

①イ　定期的に達成状況を検証し、支援策の見直しを実施する。

①ウ　教員組織である学術研究部の下に置かれた学系単位で、若手教員の指導・育成方針を策定する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番43）①ア A、①イ A…学系ごと年度ごとの若手教員比率（第４期中期目標期間末までに大学全体で25％） （指標通番44）①ウ A…各学系における若手教員の指導・育成方針の策定状況（令和６年度までに策定）

【11-2 ダイバーシティの推進】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① ダイバーシティの推進体制を強化し、全学的に女性研究者や多様な人材が活躍できるよう、意識、組織、環境を変える。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 女性研究者を上位職に登用するための育成プログラムを構築することにより、大学運営における意思決定機関等への女性の参画を拡大する。

①イ 若手研究者や女性研究者が、研究に専念できる環境の整備を行うため、学内の校務の縮減を図る「学内サバティカル制度」を創設し、予算を確保し、運用する。

①ウ 育児・介護等の支援体制を強化し、制度の周知を図ることで、女性研究者の研究継続をはじめとし、多様な人材が働きやすい環境を構築する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番45）①ア A…役員、部局執行部等の大学運営における意思決定機関等の女性数（第４期中期目標期間中の平均人数を、第３期中期目標期間の平均人数より増加） （指標通番46）①イ A…全学的な学内サバティカル制度の制度化及び予算措置（令和５年度までに実施） （指標通番47）①イB…本制度に係る支援者数（第４期終了時までに３名以上支援） （指標通番48）①ウ A…育児・介護等の支援体制の理解と意識向上を促し、多様性に関する理解を深めるためのeラーニングを構築する（令和６年度までに構築）

【11-3 外国人教員（研究者）配置による国際ネットワーク強化・知の集積拠点の形成】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 留学生の受入れや派遣、さらには国際共同研究の推進のために、国際ネットワークを強化する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

<table>
<tr><td></td><td>①ア　国際協力拠点を中心に、クロスアポイントメント制度及び学長管理ポイントを活用した外国人教員を配置するとともに、新たにリエゾンプロフェッサー制度（仮称）を構築し連携教員を任命することで、国際ネットワークを強化する。
①イ　国際機構や外国人学長補佐を活用し、全学的な視点から国際協力拠点を強化する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番49）①ア A…外国人教員又は連携教員の国際協力拠点への配置数（第４期中期目標期間中に６名配置：１名/年）
（指標通番50）①ア B…リエゾンプロフェッサー制度（仮称）の構築（令和４年度中に構築）
（指標通番51）①イ A…国際協力拠点数（第４期中期目標期間最終年度までに、６拠点：３（第３期の拠点数）×２）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>４　その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項
（12）世界の研究動向も踏まえ、最新の知見を生かし、質の高い医療を安全かつ安定的に提供することにより持続可能な地域医療体制の構築に寄与するとともに、医療分野を先導し、中核となって活躍できる医療人を養成する。
（附属病院）⑳</td><td>４　その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置
【12-1 地域の医療連携と高度医療の強化】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　地方自治体、地域医療機関との連携強化を図り、特定機能病院である当院と他病院の役割分担を明確化し、質の高い医療を提供するとともに地域医療に貢献する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　地域連携研修会の開催や連携登録医数の増加等により地域の医療機関との連携を強化し、紹介割合、逆紹介割合及び医師派遣数を、より増加させる。
①イ　高度医療の強化を行うとともに、センター化等により医療機能の集約・強化を行う。
①ウ　検査・診療に利用できるAIアプリケーションを、開発又は導入する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番52）①ア A…紹介割合、医療連携協定病院などへの逆紹介割合（第４期中期目標期間中の平均数を、令和３年度の数値より増加）、地域の医療機関への医師派遣数（第４期中期目</td></tr></table></td></tr>
</table>

		標期間中の平均数を、第３期中期目標期間中の平均数より増加） （指標通番53）①イＡ…医療機能の集約・強化の状況（令和5年度までに呼吸器センター（仮称）及びこども医療センター（仮称）、令和６年度までにアレルギーセンター（仮称）を設置するとともに、令和３年度に設置したジェンダーセンターでは保険診療が可能となる施設の認定を取得） （指標通番54）①イＢ…高度医療である一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合が定める高難度手術（D・E）や高難度新規医療技術を用いた医療の実績等（第４期中期目標期間中における高度医療の実績を第３期中期目標期間全体の実績より増加） （指標通番55）①ウＡ…検査・診療に利用できるAIアプリケーションの開発や導入状況（令和７年度までに開発と一部導入）

【12-2 医療人材の養成】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 研修プログラムの充実や自治体と連携した広報を実施し、臨床研修医、専攻医養成の充実に取り組む。

② 研修等の受講を通して、医療人材養成に取り組む。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 臨床研修プログラムを充実させるとともに、富山県と連携した広報を実施する。

②ア 高度医療に資する研修等の受講について、医師やコメディカル職員の受講を推進する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番56）①アＡ…臨床研修医の採用割合（第４期中期目標期間中における医学科５年時に行う初期研修先調査結果と採用者数の平均割合を、第３期中期目標期間の平均値より増加） （指標通番57）①アＢ…専攻医の採用者数（第４期中期目標期間中の平均数を、第３期中期目標期間の平均数より増加） （指標通番58）①アC…研修期間中に実施するアンケート等に基づき計画する、研修プログラムの充実につ

	ながる取組件数（第４期中期目標期間中に５件以上） （指標通番59）②アＡ…医師やコメディカル職員の各種専門的な研修受講数（第３期中期目標期間において、研修受講数が最も多かった令和２年度実績より毎年度増加）

【12-3 医師主導治験の強化】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 臨床研究管理センターにおいて、医師主導治験を自機関において継続的に実施できる支援体制を整備し、支援に携わる多職種の人材育成を推進する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 強みを生かした基礎研究を社会実装化するための段階の一つとして、附属病院が支援する医師主導治験により研究力強化を図る。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番60）①アＡ…社会実装に向けたシーズ発掘及び開発推進の件数（第４期中期目標期間で10件以上実施） （指標通番61）①アＢ…社会実装に向けた臨床研究（特定臨床研究、医師主導治験）の支援の件数（第４期中期目標期間中で５件以上実施）

【12-4 医師等の働き方改革の推進】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 持続可能な地域医療体制の構築に寄与するため、医療従事者の働き方改革を推進し、時間外労働時間の縮減を実現する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

<table>
<tr><td></td><td>①ア　医師が行っている業務を看護師等に移管し、医師の負担を軽減する取組（タスクシフティング）や先進的なシステムを導入する。
①イ　医師の負担軽減を図るため、特定行為看護師に係る研修の受講を促進する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番62）①ア Ａ…医療従事者の時間外労働の縮減時間数（第４期中期目標期間中の平均時間を、令和３年度実績より短縮する）
（指標通番63）①イ Ａ…看護師の特定行為研修修了者数（毎年５名以上の修了者）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>Ⅱ　業務運営の改善及び効率化に関する事項

（13）内部統制機能を実質化させるための措置や外部の知見を法人経営に生かすための仕組みの構築、学内外の専門的知見を有する者の法人経営への参画の推進等により、学長のリーダーシップのもとで、強靭なガバナンス体制を構築する。㉑</td><td>Ⅱ　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置
【13-1 学長ガバナンスの強靭化に向けた体制整備】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　学長ガバナンスの強靭化を図るため、学長の大学経営に関する補佐体制を整備する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　外部有識者を学長補佐等へ登用する。
①イ　教職員の法人経営能力を開発する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番64）①ア Ａ…外部有識者の学長補佐等への登用人数（第４期中期目標期間中の平均人数を、第３期中期目標期間の平均以上）
（指標通番65）①イ Ａ…教職員のセミナー参加人数（第４期中期目標期間中の平均人数を、第３期中期目標期間の平均以上）</td></tr></table>
【13-2 内部統制システムの継続的な改善】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準</td></tr>
</table>

	①　内部統制システムについて計画的に自己点検を行うことで改善点を見出し、継続的に改善を行い、適正かつ実効性のある体制を構築・運用する。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　内部統制システムの計画的な自己点検を実施する。 （３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標 評価指標：（指標通番66）①アＡ…当該業務における自己点検の結果とその対応状況（内部統制委員会を年２回開催し、重点事項設定及び自己点検結果の確認を実施）
（14）大学の機能を最大限発揮するための基盤となる施設及び設備について、保有資産を最大限活用するとともに、全学的なマネジメントによる戦略的な整備・共用を進め、地域・社会・世界に一層貢献していくための機能強化を図る。㉒	**【14-1 設備による教育研究支援】** （１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準 ①　平成30年度から実施している設備サポートセンター整備事業の実績を元に、本学の施設・設備等を活用した教育研究を支援する。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　学内の教職員・学生に対して設備説明見学会・講習会、デモ測定技術相談会を開催し、利用を促進する。 （３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標 評価指標：（指標通番67）①アＡ…対象設備の総利用時間（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間末時点（令和３年度）総利用時間から５％増） **【14-2 施設マネジメント】** （１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準 ①　本学の様々な活動を支える「知の基盤」として、安全・安心で快適なキャンパス環境を実現するため、施設整備及び

<table>
<tr>
<td></td>
<td>維持管理を計画的に実施するとともに、本学におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進する。
② 施設の有効活用と効率的運用に取り組み、本学の活動ニーズに柔軟に対応できるよう、施設マネジメントを推進する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア キャンパスマスタープラン及び施設長寿命化計画に基づき、施設整備を行う。
①イ 環境負荷低減の啓発活動推進及び設備機器のエコ改修等を実施する。
①ウ カーボンニュートラルに向けたロードマップを策定する。
①エ キャンパスマスタープラン、施設長寿命化計画及び省エネルギー中長期計画を検証する。
②ア 施設の有効活用を促進するため、施設利用状況調査を実施する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番68）①アA…施設整備及び修繕の状況（毎年度、具体的な整備計画として設定した事業を計画に沿って着実に進める）
（指標通番69）①イA…エネルギー消費原単位の削減：（比較する年度を基準に、過去５年平均で平均１％/年減）
（指標通番70）①ウA…ＣＯ２削減に向けた仕組みづくりの状況（令和７年度末までにロードマップを策定）
（指標通番71）①エA…キャンパスマスタープラン、施設長寿命化計画及び省エネルギー中長期計画の改定状況（年度毎の見直し及び必要に応じ改定）
（指標通番72）②アA…新たなニーズに対応するスペースマネジメントの実施状況（年１回の施設利用状況調査に基づく必要スペースの調整と確保）</td></tr></table></td>
</tr>
<tr>
<td>Ⅲ 財務内容の改善に関する事項
（15）公的資金のほか、寄附金や産業界からの</td>
<td>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置
【15-1 財源の多元化・安定的な財務基盤の確立】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
① 外部資金等の積極的な獲得に取り組むとともに、効率的な資金運用や保有資産の積極的な活用により、外部資金収入</td>
</tr>
</table>

資金等の受入れを進めるとともに、適切なリスク管理のもとでの効率的な資産運用や、保有資産の積極的な活用、研究成果の活用促進のための出資等を通じて、財源の多元化を進め、安定的な財務基盤の確立を目指す。併せて、目指す機能強化の方向性を見据え、その機能を最大限発揮するため、学内の資源配分の最適化を進める。㉓	及び自己収入額を増加させる。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　各種競争的資金や共同研究、受託研究等の獲得につなげるため、本学内の資源を適切に確保・配分するとともに、保有資産の洗い出しや長期貸付方策等を検討し、計画的に実行する。 （３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標 評価指標：（指標通番73）①ア A…外部資金収入及び自己収入額（学生納付金・附属病院を除く）（第４期中期目標期間最終年度までに、第３期中期目標期間平均の21.5億円から６%増） **【15-2 学内資源配分の最適化】** （１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準 ①　本学の機能強化に資するため、学長のリーダーシップの下、機動的・効果的な学内予算配分を実施する。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　部局予算の配分において、大学全体の方向性を勘案した学内評価指標を活用するとともに、その配分枠を拡大する。 ①イ　取り組むべき重点事項の方針等を策定し、毎年度の学内予算編成において当該事業の状況結果を確認し、予算配分に反映する。 （３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標 評価指標：（指標通番74）①ア A…学内評価指標等を活用した配分額（第４期中期目標期間中の平均金額を、第３期中期目標期間末（令和３年度）時点から倍増） （指標通番75）①ア B…重点事項への配分額（第４期中期目標期間中の平均割合を、第３期中期目標期間の大学分事業費に占める重点事項への配分割合（平均17%）以上とする）

<table>
<tr><td></td><td>

【15-3 附属病院の経営基盤の確保】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 医療行政の方向性についての積極的な情報収集と、自院の経営状況分析を基に、附属病院収益を増加させるとともに、医療経費等の削減の取組を戦略的に行い、附属病院の経営基盤の安定化を実現する。

② 国、県及び財団法人等が公募する補助金・助成金等を積極的に獲得する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 手術件数等の増加及び施設基準の新規取得に継続して取り組むことで、附属病院の診療報酬を第３期中期目標期間より向上させる。

①イ 経営改善ワーキングタスクフォースの活用と、重点指標の目標設定及び達成状況の周知により経営基盤を安定化させる。

②ア 国、県、財団法人等の病院関連事業に係る補助金・助成金等について、公募の情報収集を行い、外部資金を積極的に獲得する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

<table>
<tr><td>評価指標</td><td>（指標通番76）①アA…附属病院の診療報酬請求額（第3期中期目標期間において診療報酬請求額が最も高かった令和2年度実績より毎年増加）
（指標通番77）①イA…減価償却費も加味した病院経営状況（附属病院収入と医療経費の収支差額を第３期中期目標期間平均より増加）
（指標通番78）②アA…病院関連事業に資する補助金・助成金等の外部資金の獲得件数（継続案件含め）（第４期中期目標期間中の平均件数を、第３期中期目標期間より増加）</td></tr>
</table>

</td></tr>
<tr><td>Ⅳ 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価</td><td>Ⅳ 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</td></tr>
</table>

並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項

（16）外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを用いたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。㉔

【16-1 エビデンスベースの法人経営】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① IR（Institutional Research）組織が中心となって、教育・研究・社会貢献等の各領域における戦略・企画担当組織と連携して客観的なデータ分析を実施し、その結果を自己点検・評価のPDCAサイクルに活用することで、エビデンスベースの法人経営を実現する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア 学内の各種データを整理して、可視化し、国立大学法人評価等における自己点検・評価のPDCAサイクルの分析に資するデータの収集を行う。このデータに基づき、IR組織において分析を実施し、評価担当組織「計画・評価委員会」において、年１回の自己点検・評価を行う。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標

評価指標	（指標通番79）①アA…学内データの整理・可視化状況（令和７年度末までにデータ相関図を作成する） （指標通番80）①アB…自己点検・評価に資する分析の状況（毎年度の自己点検・評価に関するデータ分析報告書等の成果物の作成）

【16-2 ステークホルダーへの情報発信と定期的な対話】

（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準

① 法人・大学に関わる様々なステークホルダーに対し、多様なメディアを使い分け、教育・研究活動等の成果や本学が果たしている機能・役割について情報を発信するとともに、対話・意見聴取を通じて理解と支持を得る。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策

①ア ウェブ、テレビ、紙媒体等の多様なメディアを使い分け、幅広いステークホルダーに情報を伝える。

①イ ステークホルダーとの間で、定期的な対話・意見聴取を実施し、その結果をウェブサイト等で公表する。

①ウ フォーラム等イベントや公開講座等実施時に本学に対する意見等を聴くアンケートを実施し、大学運営に活用す

<table>
<tr><td></td><td>る。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番81）①アＡ…情報発信に使用したメディアの種別数（テレビ、ウェブ、SNS、パンフレットなどの種別数）（７種のメディアの活用を維持しつつ、新たなメディアが登場した場合は迅速に対応）
（指標通番82）①アＢ…プレスリリースの件数（第４期中期目標期間中の平均件数で、年間160件以上）
（指標通番83）①アＣ…公式ウェブサイトへのアクセス数（第４期中期目標期間中の平均数で、年間900万アクセス以上）
（指標通番84）①イＡ…ステークホルダーとの対話の実施状況（複数のステークホルダーと大学が定期的に対話し、その状況を毎年１回、ウェブサイト等で公表）
（指標通番85）①ウＡ…大学に対する意見等の活用状況（毎年度、アンケート結果を学長・理事を構成員とする会議で共有し、必要な対応を実施）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>Ⅴ　その他業務運営に関する重要事項

（17）AI・RPA（Robotic Process Automation）をはじめとしたデジタル技術の活用や、マイナンバーカードの活用等により、業務全般の継続性の確保と併せて、機能を高度化するとともに、事務システムの効率化や情報セキ</td><td>Ⅴ　その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置
【17-1 効果的・効率的な業務の実施】
（１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準
①　教育研究及び事務に関わる業務の、効果的・効率的な運営のため、デジタル化・オンライン化とシステムの高度化、データ利活用等のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。

（２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策
①ア　教育研究及び事務に関する業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を行うため、全学推進体制を構築するとともに、実施計画を策定し、実行する。

（３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標
<table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番86）①アＡ…実施計画の進捗状況（実施体制の構築及び計画の策定、実施計画に基づく取組の達</td></tr></table></td></tr>
</table>

ュリティ確保の観点を含め、必要な業務運営体制を整備し、デジタル・キャンパスを推進する。㉕	<table><tr><td></td><td>成（毎年度状況を確認））</td></tr></table> **【17-2 デジタル・キャンパスを推進する上での情報セキュリティ対策】** （１）中期目標を踏まえ富山大学の強みや特色を生かし実現・達成を目指す姿や水準 ①　大学として保護対象情報を特定し、濃淡を付けバランスのとれた情報セキュリティ対策を着実かつ継続的に行い、セキュリティ水準を維持・向上させる。 （２）目指す姿や水準を実現・達成するための方策 ①ア　多様化する脅威に備え、サイバーセキュリティ対策を計画的に実施する。 （３）目指す姿や水準を実現・達成したか検証するための評価指標 <table><tr><td>評価指標</td><td>（指標通番87）①アＡ…「サイバーセキュリティ対策等基本計画」の指標の達成状況（３年毎に実施する評価時に、指標を全て達成）</td></tr></table>
	Ⅵ　予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画 別紙参照
	Ⅶ　短期借入金の限度額 １　短期借入金の限度額 ３，７１５，６１９千円 ２　想定される理由 運営費交付金の受け入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定されるため。
	Ⅷ　重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ○　重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 １．重要な財産を譲渡する計画 ・該当なし ２．重要な財産を担保に供する計画

・附属病院の施設・設備の整備に必要となる経費の長期借入に伴い、本学の土地及び建物を担保に供する。

Ⅸ　剰余金の使途

○　毎事業年度の決算において剰余金が発生した場合は、その全部又は一部を、文部科学大臣の承認を受けて、

・　教育研究，診療の質の向上及び業務運営の改善

に充てる。

Ⅹ　その他

１．施設・設備に関する計画

【他1-1】

施設・整備の内容	予定額 （百万円）	財　源
（医病）病棟改修（リハビリテーション） （杉谷）総合研究棟改修（和漢医薬学系） （杉谷）ライフライン再生（熱源設備） （杉谷）動物実験施設改修 （高岡）図書館改修 （五艘（附幼））園舎改修 附属病院設備整備 小規模改修	総　額 １，６３１	施設整備費補助金　（１，２３８） 長期借入金 （(独）大学改革支援・学位授与機構） （２９７） 施設費交付金 （(独）大学改革支援・学位授与機構） （９６）

（注１）　施設・設備の内容、金額については見込みであり、中期目標を達成するために必要な業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や老朽度合等を勘案した施設・設備の改修等が追加されることもある。

（注２）　小規模改修について令和４年度以降は令和３年度と同額として試算している。

なお、各事業年度の施設整備費補助金、(独）大学改革支援・学位授与機構施設費交付金、長期借入金については、事業の進展等により所要額の変動が予想されるため、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。

２．人事に関する計画

【他2-1】学内の各種教育・研究関連データベースが保有するデータを効率的・効果的に活用し、多面的で客観的かつ透明性

のある教員業績評価を行うとともに、その評価方法の妥当性を検証し、継続的に改善する。
【他2-2】高度な専門的知識修得のためのスタッフ・ディベロップメント研修を継続し、その研修効果を検証しながら実施することによって、事務職員等の更なる資質向上及び能力向上を図る。

3．コンプライアンスに関する計画

【他3-1】コンプライアンスの推進や個人情報の適正な取扱いに関する研修会を定期的に実施することにより、教職員の法令遵守に対する理解と意識を高める。
【他3-2】大学として保護対象情報を特定し、濃淡を付けバランスのとれた情報セキュリティ対策を実施する。また、デジタル化・オンライン化を推進するうえで、必要な情報セキュリティ対策を実施し、継続するとともに、情報セキュリティに関する定常的な啓発及び教育を徹底する。
【他3-3】「研究不正」及び「研究費不正」を防止するため、「富山大学研究不正防止対応計画書」に基づき、毎年度個別詳細実施計画を策定し、取組を実施する。

4．安全管理に関する計画

【他4-1】環境・化学物質・安全衛生の管理を充実させ、環境保全及び安全衛生環境を向上させる。
【他4-2】教職員のメンタルヘルスを含む健康増進・疾病予防を支援する。

5．中期目標期間を超える債務負担

【他5-1】中期目標期間を超える債務負担については、当該債務負担行為の必要性及び資金計画への影響を勘案し、合理的と判断されるものについて行う。

6．積立金の使途

【他6-1】前中期目標期間繰越積立金については、次の事業の財源に充てる。

① キャンパス情報ネットワーク整備の一部
② 国際交流施設の建物改修等整備の一部
③ キャンパス内省エネ対応等マスタープランに係る建物改修等整備の一部
④ 職員宿舎改修工事の一部
⑤ 特色ある研究推進のための大型研究設備の一部
⑥ インターネット出願システムの拡充による大学院出願手続の簡便化と国際化対応の一部
⑦ 附属病院再整備事業に係る施設・設備費の一部
⑧ 新産業創出及び社会実装を推進する施設・設備費の一部
⑨ 教育・研究設備用マスタープランに係る設備費の一部
⑩ 人間発達科学部第３棟他改修に係る経費の一部
⑪ その他教育、研究、診療に係る業務及びその附帯業務

7．マイナンバーカードの普及促進に関する計画

【他7-1】学生及び教職員に対し、定期的にマイナンバーカードの取得に関する通知を行い、大学としてマイナンバーカードの普及促進に貢献する。

別表１　学部、研究科等及び収容定員

学部	人文学部　766人 教育学部　340人 経済学部　1,360人 理学部　840人 医学部　995人 薬学部　560人 工学部　1,614人 芸術文化学部　440人 都市デザイン学部　642人 （収容定員の総数） 7,557人
研究科等	人文社会芸術総合研究科　92人（【16人】※１） 総合医薬学研究科　316人（【37人】※２） （うち修士課程・博士前期課程　132人（【16人】※２） うち博士後期課程　48人（【21人】※２） うち博士課程　136人） 理工学研究科　711人（【20人】※１） （【73人】※２） （うち博士前期課程　624人（【20人】※１） （【58人】※２） うち博士後期課程　87人（【15人】※２）） 持続可能社会創成学環　【36人】 医薬理工学環　【110人】 （うち博士前期課程　【74人】 うち博士後期課程　【36人】） 生命融合科学教育部　0人（R6募集停止） 医学薬学教育部　0人（R6募集停止） 理工学教育部　0人（R6募集停止）

	教職実践開発研究科　　28人 ※１：持続可能社会創成学環の内数とする収容定員数 ※２：医薬理工学環の内数とする収容定員数 注：【】は，研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 （収容定員の総数） 修士課程・博士前期課程　848人 博士後期課程　135人 一貫制博士課程　136人 専門職学位課程　28人

別表２　共同利用・共同研究拠点

共同利用・共同研究拠点	先進軽金属材料国際研究機構　先進アルミニウム国際研究センター

別紙　予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1．予算

令和４年度～令和９年度　予算

（単位：百万円）

区分	金額
収入	
運営費交付金	74,455
施設整備費補助金	1,238
船舶建造費補助金	0
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	96
自己収入	151,020
授業料及び入学料検定料収入	33,590
附属病院収入	116,514
財産処分収入	0
雑収入	916
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	13,762
長期借入金収入	297
計	240,868
支出	
業務費	216,720
教育研究経費	108,961
診療経費	107,759
施設整備費	1,631
船舶建造費	0
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	13,762
長期借入金償還金	8,755
計	240,868

［人件費の見積り］
　中期目標期間中総額１３０，１０８百万円を支出する。（退職手当は除く。）

注）人件費の見積りについては、令和５年度以降は令和４年度の人件費見積り額を踏まえ試算している。
注）退職手当については、国立大学法人富山大学退職手当規程に基づいて支給することとするが、運営費交付金として措置される額については、各事業年度の予算編成過程において国家公務員退職手当法に準じて算定される。
注）組織設置に伴う学年進行の影響は考慮していない。

［運営費交付金の算定方法］
○　毎事業年度に交付する運営費交付金は、以下の事業区分に基づき、それぞれに対応した数式により算定して決定する。

Ⅰ〔基幹運営費交付金対象事業費〕
　①「教育研究等基幹経費」：以下の事項にかかる金額の総額。Ｄ（ｙ－１）は直前の事業年度におけるＤ（ｙ）。
　　・　学部・大学院の教育研究に必要な教職員のうち、設置基準に基づく教員にかかる給与費相当額及び教育研究経費相当額。
　　・　附属学校の教育研究に必要な教職員のうち、標準法に基づく教員にかかる給与費相当額。
　　・　学長（機構長）裁量経費。
　②「その他教育研究経費」：以下の事項にかかる金額の総額。Ｅ（ｙ－１）は直前の事業年度におけるＥ（ｙ）。
　　・　学部・大学院及び附属学校の教育研究に必要な教職員（①にかかる者を除く。）の人件費相当額及び教育研究経費。
　　・　附属病院の教育研究診療活動に必要となる教職員の人件費相当額及び教育研究診療経費。
　　・　附置研究所及び附属施設等の運営に必要となる教職員の人件費相当額及び事業経費。
　　・　法人の管理運営に必要な職員（役員を含む）の人件費相当額及び管理運営経費。
　　・　教育研究等を実施するための基盤となる施設の維持保全に必要となる経費。
　③「ミッション実現加速化経費」：ミッション実現加速化経費として、当該事業年度において措置する経費。

　〔基幹運営費交付金対象収入〕
　④「基準学生納付金収入」：当該事業年度における入学定員数に入学料標準額を乗じた額及び収容定員数に授業料標準額を乗じた額の総額。（令和４年度入学料免除率で算出される免除相当額については除外。）
　⑤「その他収入」：検定料収入、入学料収入（入学定員超過分等）、授業料収入（収容定員超過分等）及び雑収入。令和４年度予算額を基準とし、第４期中期目標期間中は同額。

Ⅱ〔特殊要因運営費交付金対象事業費〕
　⑥「特殊要因経費」：特殊要因経費として、当該事業年度において措置する経費。

Ⅲ〔附属病院運営費交付金対象事業費〕

⑦「一般診療経費」：当該事業年度において附属病院の一般診療活動に必要となる人件費相当額及び診療行為を行う上で必要となる経費の総額。Ｉ（ｙ－１）は直前の事業年度におけるＩ（ｙ）。

⑧「債務償還経費」：債務償還経費として、当該事業年度において措置する経費。

〔附属病院運営費交付金対象収入〕

⑨「附属病院収入」：当該事業年度において附属病院における診療行為によって得られる収入。Ｋ（ｙ－１）は直前の事業年度におけるＫ（ｙ）。

運営費交付金 ＝ Ａ（ｙ）＋ Ｂ（ｙ）＋ Ｃ（ｙ）

１．毎事業年度の基幹運営費交付金は、以下の数式により算定する。

Ａ（ｙ）＝ Ｄ（ｙ）＋ Ｅ（ｙ）＋ Ｆ（ｙ）－ Ｇ（ｙ）

（１）Ｄ（ｙ）＝ Ｄ（ｙ－１）× β（係数）

（２）Ｅ（ｙ）＝｛Ｅ（ｙ－１）× α（係数)｝× β（係数）± Ｓ（ｙ）± Ｔ（ｙ）± Ｕ（ｙ）

（３）Ｆ（ｙ）＝ Ｆ（ｙ）

（４）Ｇ（ｙ）＝ Ｇ（ｙ）

Ｄ（ｙ）：教育研究等基幹経費（①）を対象。

Ｅ（ｙ）：その他教育研究経費（②）を対象。

Ｆ（ｙ）：ミッション実現加速化経費（③）を対象。なお、本経費には各国立大学法人の新たな活動展開を含めたミッションの実現の更なる加速のために必要となる経費を含み、当該経費は各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な額を決定する。

Ｇ（ｙ）：基準学生納付金収入（④）、その他収入（⑤）を対象。

Ｓ（ｙ）：政策課題等対応補正額

新たな政策課題等に対応するための補正額。各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な額を決定する。

Ｔ（ｙ）：教育研究組織調整額

学部・大学院等の組織整備に対応するための調整額。

各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な調整額を決定する。

Ｕ（ｙ）：成果を中心とする実績状況に基づく配分

各国立大学法人の教育研究活動の実績、成果等を客観的に評価し、その結果に基づき配分する部分。

各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な調整額を決定する。

２．毎事業年度の特殊要因運営費交付金は、以下の数式により算定する。

Ｂ（ｙ）＝ Ｈ（ｙ）

Ｈ（ｙ）：特殊要因経費（⑥）を対象。なお、本経費には新たな政策課題等に対応するために必要となる経費を含み、当該経費は各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な額を決定する。

３．毎事業年度の附属病院運営費交付金は、以下の数式により算定する。

Ｃ（ｙ）＝｛Ｉ（ｙ）＋ Ｊ（ｙ)｝－ Ｋ（ｙ）

（1）Ｉ（ｙ）＝ Ｉ（ｙ－１）± Ｖ（ｙ）
（2）Ｊ（ｙ）＝ Ｊ（ｙ）
（3）Ｋ（ｙ）＝ Ｋ（ｙ－１）± Ｗ（ｙ）

Ｉ（ｙ）：一般診療経費（⑦）を対象。
Ｊ（ｙ）：債務償還経費（⑧）を対象。
Ｋ（ｙ）：附属病院収入（⑨）を対象。
Ｖ（ｙ）：一般診療経費調整額。
直近の決算結果等を当該年度の一般診療経費の額に反映させるための調整額。各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な調整額を決定する。
Ｗ（ｙ）：附属病院収入調整額。
直近の決算結果等を当該年度の附属病院収入の額に反映させるための調整額。各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な調整額を決定する。

【諸係数】

α（アルファ）：ミッション実現加速化係数。△１．２％とする。
第４期中期目標期間中に各国立大学法人が蓄積してきた知的資源を活用して社会変革や地域の課題解決に繋げることを通じ、各法人の意識改革を促すための係数。

β（ベータ）：教育研究政策係数。
物価動向等の社会経済情勢等及び教育研究上の必要性を総合的に勘案して必要に応じ運用するための係数。
各事業年度の予算編成過程において当該事業年度における具体的な係数値を決定する。

注）中期計画における運営費交付金は上記算定方法に基づき、一定の仮定の下に試算されたものであり、各事業年度の運営費交付金については、予算編成過程において決定される。

なお、運営費交付金で措置される「ミッション実現加速化経費」及び「特殊要因経費」については、令和５年度以降は令和４年度と同額として試算しているが、教育研究の進展等により所要額の変動が予想されるため、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。

注）施設整備費補助金、船舶建造費補助金、大学改革支援・学位授与機構施設費交付金及び長期借入金収入は、「施設・設備に関する計画」に記載した額を計上している。

注）自己収入並びに産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、令和４年度の受入見込額により試算した収入予定額を計上している。

注）業務費、施設整備費及び船舶建造費については、中期目標期間中の事業計画に基づき試算した支出予定額を計上している。

注）産学連携等研究経費及び寄附金事業費等は、産学連携等研究収入及び寄附金収入等により行われる事業経費を計上している。

注）長期借入金償還金については、変動要素が大きいため、令和４年度の償還見込額により試算した支出予定額を計上している。

注）上記算定方法に基づく試算においては、「教育研究政策係数」は１とし、「教育研究組織調整額」、「一般診療経費調整額」及び「病院収入調整額」については、０として試算している。また、「政策課題等対応補正額」については、令和５年度以降は令和４年度予算積算上の金額から「成果を中心とする実績状況に基づく配分」及び「法科大学院公的支援見直し分」を０として加減算して試算している。

２．収支計画

令和４年度～令和９年度　収支計画

（単位：百万円）

区分	金額
費用の部	239,986
経常費用	239,986
業務費	217,740
教育研究経費	27,525
診療経費	44,455
受託研究費等	8,513
役員人件費	1,837
教員人件費	62,477
職員人件費	72,933

一般管理費	5,317
財務費用	868
雑損	0
減価償却費	16,061
臨時損失	0
収入の部	240,759
経常収益	240,759
運営費交付金収益	72,989
授業料収益	27,281
入学金収益	3,982
検定料収益	1,028
附属病院収益	116,514
受託研究等収益	8,513
寄附金収益	4,134
財務収益	2
資産見返負債戻入	914
雑益	5,402
臨時利益	0
純利益	773
総利益	773

注）受託研究費等は、受託事業費、共同研究費及び共同事業費を含む。
注）受託研究等収益は、受託事業収益、共同研究収益及び共同事業収益を含む。
注）純利益及び総利益には、附属病院における借入金返済額（建物、診療機器等の整備のための借入金）が、対応する固定資産の減価償却費よりも大きいため発生する会計上の観念的な利益を計上している。

3．資金計画

令和４年度～令和９年度　資金計画

（単位：百万円）

区分	金額
資金支出	245,826
業務活動による支出	223,056
投資活動による支出	9,056
財務活動による支出	8,755
次期中期目標期間への繰越金	4,959
資金収入	244,911
業務活動による収入	238,321
運営費交付金による収入	74,455
授業料及び入学料検定料による収入	33,590
附属病院収入	116,514
受託研究等収入	8,513
寄附金収入	5,249
その他の収入	
投資活動による収入	1,334
施設費による収入	1,334
その他による収入	0
財務活動による収入	297
前中期目標期間よりの繰越金	4,959

注）施設費による収入には、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構における施設費交付事業に係る交付金を含む。